

# 鹽竈十福

発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一号  
 志波彦神社 社務所  
 鹽竈神社  
 電話 〇二二三六七-一六一(一代)  
 FAX 〇二二三六五-五五三〇  
<http://www.shiogamajinja.jp/>



(上段) 「東北鎮護」匾額

(下段) 戦前の鹽竈神社門・廻廊(鹽竈神社絵葉書より)

## 宮様の心願



明治十六年十一月十二日の当神社日誌には「仙台区国分町大石太吉、有栖川宮熾仁親王御染筆ノ東北鎮護ノ額字ヲ玄昌ニ刻シテ奉納、唐門ニ掲グ」とある。この玄昌石(雄勝石又は稲井石)匾額は、以降昭和初期まで唐門に掲げられ、その後は博物館にあった。本年これを修復、刻字金箔の押し直し等を施し、新たに御待殿に設置している。明治十四年七月御参拝の砌、熾仁親王は「東北鎮護」を祈願し、かく揮毫せられた。親王は、幕末から明治維新までは公家方の急先鋒として奔走し、王政復古なりて後は明治新政府の政務を統括する総裁に任せられている。その間、戊辰戦争にあつては、自ら東征大総督の職を申出て勅許のもと、西郷隆盛を補佐に江戸へと向かう。有名な西郷と勝海舟の会見を経て、江戸城の無血開城がなるのであった。そして、その背景には恭順を条件に徳川慶喜の助命をせんとする熾仁親王の大方針があつたという。斯様な御経歴の親王による「東北鎮護」の額字、そこに込められた心願の重さ尊さを思うのだ。

かつて、「東北鎮護」匾額があつた唐門と東西廻廊の漆塗替え工事が再来年春までの予定にて始まった。文化庁の新事業「美しい日本探訪のための文化財建造物活用事業」に選定されてのことである。神社としては今回の式年遷宮最後の事業であり、竣工すれば唐門から両拜殿各本殿に至る一群の建造物が杉森を背景に一段と美しく再生されることとなる。

「東北鎮護」の御神威は、いよいよ光輝き私達を守り導きくださることだろう。

# 新嘗祭(産業振興大祭)十一月二十三日

来る十一月二十三日(水)新嘗祭(産業振興大祭)が斎行されます。

新嘗祭は、大神様のめぐみによって得られた一年の収穫を感謝する祭りです。

この日、宮中では神嘉殿において天皇陛下御自ら新穀を神々へ奉られ、全国各地の神社でも斎行されています。古来稲作など農耕を生業の基幹

とする日本民族にとっても、もっとも重要な神事の一つといえます。

当社では去る五月十四日に御神田において御田植祭、九月二十四日には抜穂祭を斎行し、耕作者を中心に氏子崇敬者によって稲穂を収穫しまし

た。この御神田の和稲・荒稲をはじめ、鮮魚・蒲鉾・清酒な

ど塩竈の地場産品の数々が、当日実施され

ます。初穂曳で大勢の氏子たちの手

で市内を奉曳され、御神前に奉獻されます。特に「農耕と殖産の守護神」志波彦神社では神樂

「朝日子舞」を奉奏して大神様に収穫の感謝の誠がささげられます。



抜穂祭(9月24日)

# 神宮大麻頒布

十二月二日(金)より約十日間にわたり、当社神職が塩竈市内各戸を訪問して伊勢の神宮の御神札「神宮大麻」と平成二十九年の神社祭事暦、御神像(お正月さま)をお頒ち致します。

お正月を迎えるにあたり氏神様のお札と併せ神宮大麻を奉齋し朝夕にご家族そろって神恩に感謝いたしましょう。神棚が整わない場合、目線より高い所に祀ることで真心は通じるものです。

# 大晦日大祓式

十二月三十一日(土)午後三時より当社祓所に於いて大晦日大祓式を斎行致します。半年間の日常生活における穢れを祓う神事です。皆様御揃いで御参列頂き、清々しく新年をお迎えください。神宮大麻にあわせて「形代」をお配りします。当日御参列出来ない方は、神社までお持ち下さい。

## ○形代の取扱い方

お名前・年齢を記入し体を撫で、最後に息を吹き掛けてください。形代に遷した穢れをお祓致します。

# 裏千家献茶祭

十月五日

十月五日(水)、鹽竈神社左右宮において裏千家献茶祭が斎行されます。

当日は、裏千家家元・千宗室氏のお点前で濃茶・薄茶が点てられ、御神前にお供えされます。

祭典後は社務所全館で茶会が催され、主催する「茶道裏千家淡交会宮城支部」(鎌田宗州支部長)をはじめ多くの門人が茶の湯を通じて交流を深める恒例となっています。

同流派は全国の神社でも献



# 第二十四回 初穂曳奉仕者募集

今年も稔りの秋がやってまいりました。

ただいま鹽竈神社奉仕会(小島邦雄副理事長)では、老若男女を問わず「初穂曳」の奉仕者を募集しています。市民が一体となって大神様の恵みに感謝する初穂曳。参加費は無料です。

お申込み・お問い合わせは社務所までお願いします。

『政宗が育んだ「日本遺産」に  
「伊達」な文化』

「日本遺産」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が文化的な遺産として認定するもので、地域にある有形・無形の文化財群を総合的に活用することを目的としています。

平成二十七年に「日本遺産」として認定された十八件に加え、本年四月の審議を経て新たに十九件が認定されました。



鹽竈神社の花まつり

このうち宮城県では、仙台市・多賀城市・塩竈市・松島町にまたがる文化財などで構成される「政宗が育んだ「伊達」な文化」のストーリーが認定されました。

仙台藩祖・伊達政宗公が基礎を築いた、国際性をともなった豪華絢爛で斬新な文化が時代をこえて受け継がれ広まったとする「伊達」な文化のストーリー。このなかで鹽竈神社は、後の藩主らによって受け継がれ、深化・発展をみせた政宗公の豪華絢爛さへの志向がうかがえる建造物として位置づけられています。

塩竈市では「鹽竈神社」ほか、「歴代藩主奉納太刀」、「鹽竈神社帆手祭・花祭」、「おくのほそ道の風景地 籬が島」などがストーリーを構成する文化財となっており、今後、各地と連携した整備・活用が期待されます。

（「日本遺産」の各ストーリーについては、文化庁、市町のホームページを御参照下さい。）



鹽竈神社の歴代藩主奉納太刀（宮城県指定文化財）

門・廻廊

修復工事に着工

表紙でも御紹介しましたが、たくさんの方の参拝者を迎える門（唐門）や神符守札所（東廻廊）祈禱受付所（西廻廊）は、外部塗装や彩色に経年による劣化がみられ、板壁の一部は塗装膜の剥落があり漆下地が表れ、美観が損なわれていました。この為、「美しい日本探訪のための文化財建造物活用事業」として現在修復工事が行われています。

鹽竈神社神門内

敷石工事完工

昨年より進められてきた神門内敷石敷設工事は、本年七月十日の鹽竈神社例祭前に無事完工しました。

第一期工事では、別宮・左右宮への参拝道の拡幅を行い、昨年内に竣工。本年二月よりの第二期工事では、門内全域に敷石の敷設を行いました。敷石には良質の白御影石を使用して排水溝を埋設し、参拝者の足元に配慮したのとなつていきます。

八月二日には「門・廻廊修復工事起工奉告祭」を斎行し、宮司を始め責任役員、総代ほか関係各位が参列し、工事の安全を祈願しました。

この工事に併せ、門の扁額「一宮三社鹽竈大明神」の漆塗り直し、吊灯笼の補修工事も実施しています。工期は平成三十年三月まで。完工した暁には、漆塗りが鮮やかな門と廻廊が参拝者を迎えることでしょう。

皆様には御不便をお掛けしますが、何卒御理解、御協力をお願いします。



工事中の門と東西廻廊



全面に敷石が敷かれた社頭

# 鹽 竈 会 総 会

当社と御祭神を同じくする神社の集い「鹽竈会」は去る六月二十一日に長野県松本市で総会を開催しました。

松本市鎮座の鹽竈神社(大澤明三宮司、鹽竈会副会長)を会場に、鹽竈会本部より本部長(権宮司)、事務局長の二名、他会員、役員総代家族親類十五名の出席となりました。会員神社より茨城県日立市の種殿神社(土岐宮司)、大阪府羽曳野市の正神社(葉山宮司)からの参加がありました。

一行は午後一時より鹽竈大神神威景仰祭を斎主は大澤宮司、祭員に四柱神社神職と巫女の奉仕により斎行し、その後松本市内を散策し諏訪湖畔のホテルへ到着。

総会は松本副会長を議長に進められ、原案通り了承された後は懇親会となりお互いに親睦を深めました。

翌二十一日は諏訪大社上社・下社を正式参拝、境内を見学し、午後上諏訪駅にて解散となりました。



平成二十八年年度功労表彰者を御紹介します。

- 山梨県富士吉田市 塩釜神社(宮下宮司) 総代 加々美 正義
- 岩手県九戸郡 塩釜神社(里村宮司) 責任役員 明戸 実

## 一 森 会 総 会

去る八月二十三日、当神職養成所の卒業生の同窓会組織「一森会」(第十期卒、石川昇会長)は当社を会場に総会を開催しました。

延べ二十名の出席者は正式参拝の後、大講堂にて総会、滞りなく終了し、松島「ホテル大観荘」へ移動し、当社神神職を交え懇親会となりました。

席上では、当時の思い出話等を肴に大いに酒盃を酌み交

わし懇親を深めました。当養成所の卒業生は五九二名、北は北海道から南は和歌山県まで父祖累代の神社や諸大社に奉仕し、斯道興隆のため活躍しています。

北海道支部創立六十周年一森会では北海道、青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島、関東関西の各支部が活動を行っていきます。

九月二十八日には北海道支部(支部長白取敏昭氏)が創立六十周年記念式典並びに祝賀会を北海道登別市の登別グ

去る七月二十三日に当社総代就任奉告祭が斎行されました。祭典後、拜殿において宮司より委嘱状が交付されました。

新総代の皆様を左記に御紹介いたします。

- 総代(任期三年) (敬称略)
- 渡會 邦彦・渡邊 昭二
- 佐藤 徳雄・郷家 照夫
- 鈴木 彰・菅野 庸
- 小島 邦雄・佐藤仁一郎
- 和田 忠・志賀 重信
- 阿部 仁・水野 暢大
- 鈴木 健史・桑原 茂

役員総代研修旅行実施  
九月十日より二泊三日の日程で石川富山両県において研修旅行を実施しました。

参加者は二十一名。加賀一宮の白山比咩神社、越中一宮の高瀬神社、射水神社を正式参拝し、輪島の朝市、輪島キリコ会館などを見学し帰路に着きました。天候にも恵まれ実りある研修でした。



ランドホテルで開催、当社より所長(宮司)、事務局長が出席しこの佳節を祝しました。

## 総 代 就 任 奉 告 祭



# 講社だより

## 塩竈千人講講社祭

六月二十六日、塩竈千人講講社祭が鹽竈神社左右宮において佐藤今朝吉講長以下八十八名の講員が参列し齋行されました。

本年は左記の方々が永年勤続表彰を受けられましたので御芳名を御紹介いたします。

(敬称略)

- ◇六十年表彰  
佐藤 賢治 ・ 小野 幸一  
佐藤 秋子 ・ 佐藤 諭
- 赤間 元男 ・ 佐藤 秀秋
- ◇五十年表彰  
鈴木 仁
- ◇三十年表彰  
鈴木 秀基 ・ 鈴木 優夫
- ◇十年表彰  
鈴木 綾子

## 塩竈千人講設立六十年

塩竈千人講は本年設立六十年を迎えました。

昭和三十一年に小野幸吉氏を初代講長として「塩竈百人講」として結成され、創立三十周年頃には参列百名を超える規模となりました。それに伴い平成三年に講名



塩竈千人講

を「塩竈三百人講」と変更しました。

さらなる講員の増加により平成十三年には講名を「塩竈千人講」とし、特製の半被を全講員分製作。

創立五十周年にあたる平成十八年には各世話人が特別表彰をうけました。

平成二十四年には現講長佐藤今朝吉氏が第五代講長に就

任。

本年六十周年記念大祭には参列者全員がお揃いの半被を着て参列し、志波彦神社神門前にて記念撮影を行いました。

## 講社大祭のご案内

来る十月八日(土)より十日(月)にかけて講社大祭を齋行致します。

市内はもとより、県内、全国各地の講員の方々が大神様に報恩の誠を捧げ、家内安全・

## 東北式内社顕彰会

### 総会ならびに

### 第八回講演会開催

当社に本部を置く東北式内社顕彰会は九月二十一日に当社大講堂を会場に総会・第八回講演会を開催しました。参加者は十九名。

午前十一時より真山悟氏(元東北歴史博物館副館長/日本古代史専攻)による「式内社から見る古代の宮城」と題した講演会を開催しました。

昼食をはさみ午後一時より総会、その後正式参拝をし、現在工事が進められている重

商売繁盛を祈願します。境内では三日間にわたり神楽が奉納され、大勢の参拝者で賑わいます。

## 神楽奉納団体

- 八日 赤谷神楽保存会
  - 九日 檜崎法印神楽保存会
  - 十日 塩竈神楽保存会
- (それぞれ午前九時より午後二時まで)



要文化財「鹽竈神社」門および東西廻廊保存修理工事の現場を見学し、散会となりました。

## 塩竈市戦没者遺族会 慰霊祭

九月九日、塩竈市戦没者遺族会主催の慰霊祭が当社大講堂にて齋行されました。

先の大戦から七十一年の今年には宮城県知事をはじめ、塩竈市長、塩竈市議会議長、県会議員、県連合遺族会長ほか六十五名参列の下、神楽「浦安の舞」を奉奏し、玉串を奉りて日清・日露戦争より大東亜戦争で戦死した塩竈市の戦没者千五百五十四柱の御英霊の御霊に追悼の誠を捧げました。会員は祭典に先立ち、前年修復した市内月見ヶ丘の慰霊塔を参拝しました。



### 敬神婦人講だより

当社敬神婦人講は、昭和六年に設立し「良い人は良い家庭から生まれる」という心を基に、神社への奉仕を中心に、各種研修、社会福祉活動等に取り組んでいます。

毎月一回の神拝行事・例会を始め五月・九月の境内清掃奉仕、六月二十日「大年寺墓参」、十一月は七五三詣受入れお手伝い・育児院児童七五三御招待、国旗小旗奉製等の活動を行っています。

また、全国敬神婦人大会、県敬神婦人連合会総会に出席し併せて研修旅行を実施しています。

#### 全国敬神婦人大会

##### 並びに研修旅行

九月五日から七日にかけて第六十七回全国敬神婦人大会兵庫大会が、兵庫県神戸市において開催されました。

宮城県より四十二名、当社婦人講より十九名が参加しました。

一行は五日に空路伊丹空港へ旅立ち、大阪天満宮を正式

参拝の後、宝塚大劇場にて星組公演「桜華に舞え」を観劇、華麗なステージを堪能しました。

二日目は、阪神淡路大震災を後世に伝える神戸港震災メモリアルパークを見学、改めて災害の悲惨さを胸に刻みました。

その後、生田神社を正式参拝し、全国大会に出席しました。

最終日は伊弉諾神宮を正式参拝、淡路夢舞台、北野異人館街を散策し無事帰路に着きました。

### 博物館だより

#### 博物館実習実施

博物館では、九月五日から九日の五日間、平成二十八年度の博物館実習を実施いたしました。

本実習は博物館・美術館の学芸員の資格取得にかかわるもので、今回は東北学院大学より二名、宮城学院女子大学より二名の計四名が参加しました。それぞれ、意欲的に資料の取り扱いなどにのぞんでいたようです。

### 國學院大學 指定実習受入

九月五日より十一日までの一週間、國學院大學の学生を受入れ指定実習を実施しました。

同大學の実習神社に指定される当社では、例年実習生を受け入れており、本年は神道文化学科三年生の久保田賀君（福島県）、田村真大君（東京都）、椿拓磨君（東京都）の三名が社務所に泊り込み実習に臨みました。

実習内容は祭式や禊・鎮魂行法、奉製作業をはじめ、境内清掃、社頭での参拝者との応対や祈禱奉仕など。緊張感を持って熱心に取組んでいました。

最終日には実習生自身で閉講奉告祭を奉仕しました。前日に習礼を行い、自分達で祭典準備をし一週間の実習が無事終わった旨、御神前に奉告しました。

この実習がそれぞれの糧となり、将来彼らが斯界で活躍する事を期待します。



生田神社にて記念撮影



教室での梱包実習

### 養成所通信

#### 集約講義

当養成所は九月二日から四日にかけて、神道学博士の中西正幸氏を招聘し、生徒のため集約講義を開講いただきました。

國學院大學大学院・客員教授で、神社本庁の教学委員を務められる中西氏には、三日間の講義で神道の概説論から神職の使命にいたるまで網羅的かつ平易に御教授いただき、生徒にとって確かな教養となりました。



中西講師

#### 夏季神社実習

今夏、養成所の夏季休業に先立ち五日間の神務実習が実施されました。

受入先である竹駒神社（千葉博男宮司）の格段の御高配により、日頃の実習とは異なり生徒にとって得がたい経験となったようです。

参拝記録

六月から八月にかけて、当社を正式参拝された方々を左記に御紹介いたします。(敬称略)

六月

- 四日 千葉県神社総代会海匠鉾支部 千葉県神社庁海匠鉾支部
- 十四日 日光二荒山神社中宮祠氏子会 日光二荒山神社中宮祠氏子会
- 十八日 國學院大學 城所俊哉氏 國學院大學 中里陽一氏

- 二十一日 岩手県九戸郡神社総代会連合会 岩手県九戸郡神社総代会連合会

- 二十二日 巨理逢隈地区管内神社総代・氏子 巨理逢隈地区管内神社総代・氏子
- 二十五日 國學院大學 瑞玉会 國學院大學 瑞玉会

七月

- 二日 志波姫神社 工藤順司宮司他総代 志波姫神社 工藤順司宮司他総代
- 五日 大崎八幡宮 小野目稲美彌宜他総代 大崎八幡宮 小野目稲美彌宜他総代
- 七日 北海道神宮 研修旅行 第二班 北海道神宮 研修旅行 第二班
- 八日 国際ロータリー第二五二〇地区 濱守豊秋ガバナーほか二名 国際ロータリー第二五二〇地区 濱守豊秋ガバナーほか二名

- 十三日 國學院大學 茂木貞純教授 國學院大學 茂木貞純教授
- 二十八日 國學院大學 第八十一期同期会 國學院大學 第八十一期同期会
- 三十日 神田法人会 青年部会 神田法人会 青年部会

八月

- 五日 山形県神社庁 山形県神社庁
- 八日 お宮とこどもをつどい参加者 山形県神社庁

- 八日 一ノ矢八坂神社旅行会 一ノ矢八坂神社旅行会
- 二十三日 一森会 石川昇会長他 一森会 石川昇会長他
- 二十七日 伊達神社氏子総代会 伊達神社氏子総代会
- 二十七日 北海道白老町教育委員会生涯学習課 北海道白老町教育委員会生涯学習課

- 仙台藩白老元陣屋資料館 仙台藩白老元陣屋資料館
- ボランティア団体 友の会 ボランティア団体 友の会

ご結婚  
おめでどう  
ございます

この六月から八月の間、左記二十五組の方々が当社御神前にて華燭の典を挙げられました。(敬称略)

六月

- 伊具郡 菅野 彬 伊具郡 菅野 彬
- 東松島市 豊野 美沙 東松島市 豊野 美沙

- 仙台市 高橋 秀和 仙台市 高橋 秀和
- 黒川郡 千坂 亜由美 黒川郡 千坂 亜由美

- 岩手県 山崎 敬太 岩手県 山崎 敬太
- 宮城郡 若桑 杏奈 宮城郡 若桑 杏奈

- 気仙沼市 菊地 洋 気仙沼市 菊地 洋
- 気仙沼市 三浦 かおる 気仙沼市 三浦 かおる

- 仙台市 松川 崇志 仙台市 松川 崇志
- 柴田郡 齋藤 仁美 柴田郡 齋藤 仁美

- 多賀城市 佐藤 一品 多賀城市 佐藤 一品
- 仙台市 庄子 文恵 仙台市 庄子 文恵

- 宮城郡 大槻 征玄 宮城郡 大槻 征玄
- 登米市 細川 裕美子 登米市 細川 裕美子

- 岩手県 阿部 祐樹 岩手県 阿部 祐樹
- 仙台市 鈴木 みどり 仙台市 鈴木 みどり

- 大崎市 恵土 宏司 大崎市 恵土 宏司
- 仙台市 山口 陽子 仙台市 山口 陽子

- 仙台市 鈴木 達也 仙台市 鈴木 達也
- 東京都 小山 映子 東京都 小山 映子

- 愛媛県 長尾 利治 愛媛県 長尾 利治
- 宮城郡 相原 あい 宮城郡 相原 あい

- 仙台市 佐藤 茂 仙台市 佐藤 茂
- 石巻市 小幡 はるみ 石巻市 小幡 はるみ

- 塩竈市 遠藤 健雄 塩竈市 遠藤 健雄
- 仙台市 田崎 香菜子 仙台市 田崎 香菜子

- 岩手県 坂本 徳明 岩手県 坂本 徳明
- 塩竈市 西村 麻恵子 塩竈市 西村 麻恵子

- 仙台市 加藤 健太郎 仙台市 加藤 健太郎
- 仙台市 大原 美雪 仙台市 大原 美雪

- 石巻市 伊藤 章 石巻市 伊藤 章
- 仙台市 本間 ゆう子 仙台市 本間 ゆう子

- 仙台市 相澤 正俊 仙台市 相澤 正俊
- 登米市 成澤 香織 登米市 成澤 香織

七月

- 仙台市 横山 竜也 仙台市 横山 竜也
- 仙台市 及川 奈七見 仙台市 及川 奈七見

- 名取市 佐伯 憲幸 名取市 佐伯 憲幸
- 塩竈市 佐々木 美和 塩竈市 佐々木 美和

- 山形県 長谷川 幸男 山形県 長谷川 幸男
- 多賀城市 星 佳織 多賀城市 星 佳織

- 本吉郡 高橋 豊 本吉郡 高橋 豊
- 仙台市 渡邊 美郷 仙台市 渡邊 美郷

- 東京都 阿久津 創 東京都 阿久津 創
- 岩沼市 齋藤 芳枝 岩沼市 齋藤 芳枝

- 岐阜県 瀬戸 浩之 岐阜県 瀬戸 浩之
- 名取市 佐藤 美佳 名取市 佐藤 美佳

八月

- 石巻市 鈴木 賢 石巻市 鈴木 賢
- 白石市 千歳 麻矢 白石市 千歳 麻矢

- 岩手県 加藤 貫行 岩手県 加藤 貫行
- 岩手県 小岩 知恵 岩手県 小岩 知恵



大漁満足	海上安祈願	十二月	十一月	十月	毎月	祭事暦 (十月から十二月まで)	国家安泰 五穀豊穣 家内安全
		一日	三日	五日	一日		
		二十三日	十五日	十日	六日		
		三十一日	二十三日	十七日	二十九日		
		嘉津良比祭	明五治祭	裏千家献茶祭	朔日		
		天長祭	七五三祭	講社大祭	曲木神社月次祭		
		大祓式・除夜祭	新嘗穂刈祭	神嘗奉祝祭	御釜神社月次祭		
					鹽竈神社月次祭		
					志波彦神社月次祭		

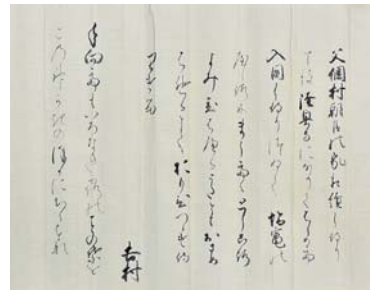
### 伊達吉村公の奉納和歌を出品

仙台藩五代藩主の伊達吉村公は宮床伊達氏の出身で、歴代藩主のうち最も在任期間が長く、藩財政の立て直しなどに努めたほか、和歌や書画の才に秀でたことで知られています。

吉村公は、四代藩主綱村公の志をついで鹽竈神社御社殿の造替工事を完成させたほか、数々の和歌を当社に奉納しています。

このたび、吉村公にゆかりの宮床宝蔵において、本年十月四日(火)から来年二月五日(日)まで「中興の名君伊達吉村

公展」が開催されます。同展には、当社よりも吉村公による奉納和歌五点を出品しており、会期中の十二月四日(日)まで公開の予定です。文化の秋、ぜひ足をお運びください。  
 〈宮床宝蔵〉  
 大和町宮床字下小路六四〇二二(三四六)二四三八



伊達吉村公奉納和歌

### 文芸欄

水澄むや塩釜甚句口づさむ  
 人去りてダム湖の日ざし秋のいろ  
 船乗せる水平線や鯛雲  
 一雨に天地の鼓動蟬しぐれ  
 平凡な暮し大事に水を打つ  
 紙飛行機鯛雲へと紛れ込む  
 句会へと急ぎ足なる野分かな  
 いま一度郭公のうた里の山  
 ひまわりに背丸き齡見下ろされ  
 息災を確かめに来る羽抜鶏

太田 サチコ  
 渡辺 智賀  
 辻田 よし子  
 佐藤 みね  
 佐々木 和子  
 神野 礼モン  
 横田 みち子  
 加茂 かつる  
 菅原 玲子  
 山田 桃晃

### 授与品案内

#### 健康長寿守

十一月一日より「健康長寿守」を新しく授与します。初穂料は千円。皆様の益々の健康を祈願し奉製しました。十二月一日より、平成二十九年版「うまくいく御守」の授与を開始します。



来年の干支「酉」の飾金具がついた「うまくいく御守」。お守りを受けた皆様が、これからも何事もうまくいくように願ってやみません。

### 銅板奉納者芳名

六月から八月にかけて、多くの方々より屋根葺き替えのため銅板を奉納いただきました。(敬称略)

六月 広島県 林 吉宏  
 ほか一〇八名  
 七月 埼玉県 山根 聡  
 ほか一七八名  
 八月 北海道 林 勝久  
 ほか一二六名

### 人事異動

昇級(九月十日付)  
 神職身分二級上 博司  
 禰宜 大瀧 博司  
 神職身分二級 権禰宜 鈴木 重和  
 退職(八月三十一日付)  
 出仕 西郷 郁弥

### 赤筆忌

度重なる台風による大雨の被害に遭われた皆様へ衷心よりお見舞い申し上げます。今号より社報を担当する事となり、手探りで編集作業となりました。